

●ドローンによるりんくうタウンアマモ場分布調査 ～H28.10.15、船上からのアマモ生育調査～

7月25日に行った樽井、岡田浦、二色の浜でのドローン調査で、1日の潜水調査で3海域を行うことは難しいと分かり、それに代わる調査方法はないか検討した。その結果、水中ビデオで海底の映像を撮り、アマモが生育しているか判別することにしました。

舷側から水中ビデを降ろし、空撮で海底の陰影がある部分の海域で船を行き来し、GPSによる船の位置情報とビデオ映像の内挿された時刻を照合することで、アマモの有無を判定します。

水中ビデオは[ファーストシーン\(株\)](#)の”釣るとこみるぞう君”を用いた。



釣るとこみるぞう君

みるぞう君で撮った当日の映像を以下に示します。

その映像は以下の通りです。



アマモ



アオサ



砂地

これでアマモの有無が確認できることが分かりましたので、船をゆっくり進め、できるだけ広い範囲に移動してもらい樽井は無事終了しました。

次は岡田浦ですが、乗船前にみるぞう君が正常に作動するかどうか起動してみて、困りました。全く反応しません。バッテリー他いろいろとチェックはしましたが、作動しません。

そこで、みるぞう君は諦め、船側から箱メガネで海底を覗いていくことに！ほぼ一定時間間隔でアマモの有無とGPSで位置を記録することにしました。

岡田浦を終え、二色の浜に移動し、同様にGPSと箱メガネで調査し、一日を終えました。

調査結果は、Google-map の緯度・経度→平面直角座標変換ソフト [M'z Room](#) を用い下記のように整理しています。



樽井(●:アマモ、●:アオサ、●:砂地)